

宮古市「鍬ヶ崎・光岸地まちびらき記念式」が開催されました

都市計画課

10月28日、宮古市の鍬ヶ崎・光岸地地区土地区画整理事業等が概成したことから、宮古市主催でまちびらき記念式等が開催されました。

< 鍬ヶ崎・光岸地まちびらき記念式の概要 >

記念式では、国、県、市、地域の代表者や事業関係者等約 200 名が出席し、事業の経過報告や地元の中学生による作文朗読等が行われました。

記念式の後は、復興事業情報発信フォーラムも開催され、震災直後から復興まちづくりの総合アドバイザーとして継続的に宮古市を支援している東京工業大学副学長の屋井鉄雄氏による講演や、地域代表者や事業関係者によるパネルディスカッションが行われました。

< まちびらき記念式の様子 >



鍬ヶ崎小学校児童による「賛歌」の合唱



山本宮古市長による主催者挨拶



吉野復興大臣による来賓祝辞



地元中学生による作文朗読



東京工業大学副学長屋井鉄雄氏による講演



パネルディスカッションの様子

< 鍬ヶ崎・光岸地地区土地区画整理事業の事業概要 >

(1) 事業目的

宮古市鍬ヶ崎・光岸地地区は、宮古港に面する平坦地と周辺の緩傾斜地からなり、古くから漁業・水産加工業が盛んで、漁業の町として栄えた地区ですが、東日本大震災津波により壊滅的な被害を受けました。

このため、土地区画整理事業により、基盤整備や市街地の整備を一体的に行い、東日本大震災津波からの早期の復興を図っているものです。

(2) 事業概要

ア 事業期間：平成 25～34 年度（清算期間5年を含む）

イ 全体面積：約 23.8ha

ウ 総事業費：約 131 億円

エ 対象戸数：270 戸（民 230 戸、公 40 戸）

